

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(令和4年度対象)



令和5年8月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

この報告書は、

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、令和4年度の教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会教育長及び教育委員名簿（令和5年4月1日現在）

職 名	氏 名
教 育 長	木 村 俊 幸
教育長職務代理者	林 洋 子
委 員	村 重 浩 二
委 員	大 塚 益 子
委 員	河 端 孝 順

2 教育委員会会議等の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催します。令和4年度は定例会を12回、臨時会を1回開催しました。

また、教育委員会の所管事項について調査・研究する委員協議会（意見交換会）を令和4年度は19回開催しました。（定例教育委員会会議に関する意見交換、教科用図書に関する意見交換など。）

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第5条の規定に基づき、令和4年度は合計で21件について審議しました。

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件
- (2) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・・・4件
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・・6件
- (4) 教育に関する事務の点検・評価に関すること・・・・・・・・・・・・1件
- (5) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件
- (6) 教科書その他の教材の取り扱い方針に関すること・・・・・・・・・・1件
- (7) 教育委員会の各表彰規程に基づく表彰・・・・・・・・・・・・・・1件
- (8) 職員の分限（傷病による休職を除く）及び懲戒の処分・・・・・・1件

規則に基づく審議案件の他、報告事項、協議事項についても取り扱いました。

報告事項（45件）の概要

- (1) 教育委員会の各種行事等の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・12件
- (2) 町予算の議決に関する報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5件
- (3) その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28件

協議事項（1件）の概要

- (1) 選出依頼のあった各種協議会等の委員の選考・・・・・・・・・・・・1件

月別の主な審議議案等の概要

実施月	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月定例会	3	8		<ul style="list-style-type: none"> ・ 附属機関等委員の委嘱 ・ 公民館定期休館日の特例に関する規則の一部改正
5月定例会	4	7		<ul style="list-style-type: none"> ・ 町長の権限事務の補助執行に関する協議 ・ 附属機関等委員の委嘱 ・ 6月補正予算（案）
6月定例会		6	1	
7月定例会	1	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科用図書の採択
8月定例会	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月補正予算（案）
8月臨時会	1			<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会職員の懲戒処分
9月定例会	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 附属機関等委員の委嘱
10月定例会		1		
11月定例会	3	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会の点検・評価報告書（案） ・ 酒々井町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する協議 ・ 12月補正予算（案）
12月定例会		3		
1月定例会	2	2		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育委員会被表彰者の選考 ・ 特別職の職員等で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の改正
2月定例会	2	3		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月補正予算（案） ・ 新年度当初予算（案）
3月定例会	3	5		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育施策の策定 ・ 酒々井町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定
合計	21	45	1	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、令和4年度教育委員会の基本理念、分野毎の重点的な取り組み、主な施策に基づく、各課、教育機関における主要事業を中心に、34事業について点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会事務局で作成した「教育施策評価表」により実施しました。評価は、主要事業の取り組み状況（達成度）について、実績・成果・課題を記述し、AからEの5段階で評価するとともに、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただきました。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している
- B おおむね順調に達成している
- C 達成見込みであるが課題がある
- D 達成できなかった
- E その他

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・・・・事業を拡大充実する
- 現状維持・・・・現状を維持継続していく
- 改善・・・・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する
- 統合・・・・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める
- 期限付・・・・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する
- 休止・・・・・・事業を休止する（復活の可能性あり）
- 廃止・・・・・・事業をやめる

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した34事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「令和4年度教育施策評価表」を添付しております。

(1) 取り組み状況（達成度）

- A 予定どおり順調に達成している・・・・22事業
- B おおむね順調に達成している・・・・9事業
- C 達成見込みであるが課題がある・・・・3事業

D 達成できなかった・・・・・・・・・・・・・・・・0事業

(2) 方針の分類 (今後の方向性)

拡大・・・・・・・・1事業

現状維持・・・・27事業

改善・・・・・・・・6事業

7 まとめ

当町教育委員会では、課題の取り組みや方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、町民の皆様への説明責任を果たし、信頼される教育委員会を目指すひとつの方策として点検・評価を実施しております。

令和4年度酒々井町教育施策として策定した「酒々井の教育」では、基本理念を「しなやかに・・・すこやかに・・・いきいきと・・・」として、分野毎の重点的な取り組みや主な施策などを体系的にとりまとめており、これに基づく各課、教育機関における主要事業を対象として、点検・評価を行いました。

今回評価を行った主要事業のほぼすべては、それぞれの事業目的に従い、計画的に実施されており、概ね適正かつ順調に事業執行されたものと判断しております。しかしながら、事業の実施方法など工夫や改善が必要な事業もわずかながらあることから、次年度の事業計画を組み立て、予算の編成を行っていくなかで、さらに検討を深め、多様化する教育ニーズに対応していくことが重要であると認識をしております。

なお、今回の点検・評価の結果については、町ホームページにより公表を行い、町民の皆様からのご意見等いただくことで、今後の事務事業の執行に反映をさせていきたいと考えています。

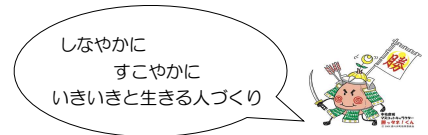
※ 評価委員会委員

職名	氏名
委員長	久本 邦夫
委員	長谷川 睦
委員	柳橋 幸雄

◇令和4年度事業に係る評価委員会の開催状況

第1回 令和5年8月9日(水)

令和4年度 教育 施策 体系 図



人 自然 歴史 文化が調和した活力あふれるまち 酒々井（将来都市像）

人権と学びが尊重され、豊かな心と歴史・文化が香るまちづくり 教育文化（基本目標）

しなやかに すこやかに いきいきと生きる人づくり（基本理念）

分野	重点的な取組	主な施策	主な事業
1 学校教育	(1) 教育環境の整備	○学校施設、設備の整備と改修 ○通学路の安全確保 ○給食施設、設備の改修等	○酒々井小学校用地公有地化○酒々井中学校グラウンド拡張
	(2) 確かな学力の向上	○特別支援教育の充実○きめ細かな指導体制の推進	○1人1台PC及び統合型校務支援システムの活用○スクールバス運行○通学路安全点検の実施 ○トイレ手洗い温水化工事○調理備品の更新
	(3) 豊かな心の育成	○学校図書館の充実と読書活動の推進 ○いじめ防止対策の推進 ○適応指導の推進	○いじめに関する実態調査及びネットパトロールの実施 ○ケース会議の開催○図書館アシスタントの配置と読書活動の推進○学校適応専門相談員の配置 ○新型コロナウイルス感染症に係るいじめ対策の実施
	(4) 教職員の資質能力の向上	○教職員研修への支援 ○教職員の教育研究活動への支援 ○適切な評価の活用	○大学等との相互協力○教育活動への支援○自己評価、学校関係者評価の実施 ○職種経験年数及び教科領域に関する研修会の開催
	(5) 特色ある教育活動の推進	○人権同和教育の推進 ○環境教育の充実 ○国際理解教育の推進 ○保小中連携の推進 ○郷土を愛する心の涵養○学校行事の充実	○ALT及び小学校英語専科教員の配置 ○保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）○人権、同和教育事業の実施 ○英語検定の受検料助成（パワーアップE） ○「酒々井学（ふるさと学習）」の推進 ○豊かな心を育むCTSプランへの助成○修学旅行への助成
	(6) 幼児教育の充実	○幼児教育に係る支援	○幼児教育・保育無償化、私立幼稚園運営費及び教材費補助事業 ○保育園児への英語活動、体育活動及び情操教育
	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	○体力、運動能力の向上 ○競技力の向上 ○安全・安心な学校給食の提供○食育推進○食物アレルギー対応	○酒々井町立小学校運動能力証の交付○部活動指導員の配置○大会参加経費の助成 ○食育指導○食物アレルギー対応○安全・安心な食材の購入○地元産食材の利用
2 社会教育	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	○ライフステージに応じた生涯学習プログラムの充実 ○学習サークル活動への支援 ○人権に関する関心の高揚 ○公民館等主催講座の充実と学習成果の活用 ○子ども読書活動の推進	○成人式の開催○学習サークルへの支援 ○町民文化祭の開催○人権教育セミナーの開催 ○しずい青樹堂の開催○こども青樹堂（3・4年生及び5・6年生）の開催 ○コスモス会日本語教室○社会教育指導員の配置○図書館講演会やおはなし会等の開催
	(2) 生涯学習の推進体制の整備	○学校教育への支援、協働 ○社会教育委員との連携	○地域学校協働本部の設置○地域未来塾の開催 ○社会教育委員会議の開催
	(3) 多様な図書館サービスの利用促進	○施設、機器の維持管理 ○施設の円滑な運営と利用促進	○中央公民館の管理運営 ○プリミエール酒々井の管理運営○図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実 ○音楽会の開催
	(4) 学習関連施設の整備		
3 生涯体育・スポーツ	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	○体育施設の整備検討 ○学校体育施設の活用促進 ○指導者の確保、養成 ○参加する機会の充実と情報提供	○町民体育館等活動の場となる体育施設整備の検討○学校体育施設の活用促進○指導者講習会への参加促進○スポーツ推進委員連絡協議会への助成○ライトスポーツクラブの開催○健康体育アドバイザーの配置○ライトスポーツクラブ通信の定期発行○各種スポーツ教室、大会等の情報提供
	(2) スポーツ活動への支援	○スポーツ関係団体、選手への支援 ○スポーツ大会の開催	○各種スポーツ教室、大会等の開催○印旛郡市民スポーツ大会 ○体育協会への助成○優秀な選手への助成
4 青少年の育成	(1) 家庭の教育力の向上	○保護者等への支援 ○広報活動の充実 ○基本的な生活習慣習得への支援	○家庭教育学級の開催○早寝早起き朝ごはん運動の推奨○家庭教育指導員の配置 ○家庭教育に関する広報啓発活動 ○家庭教育支援チームの設置 ○SNSのルールとマナーに関する啓発活動の推進
	(2) 地域の教育力の向上	○子どもの社会参加の促進 ○学校教育への支援、協働	○子ども会活動○青少年相談員による各種イベントの開催○ファンファンサタデー事業の開催 ○北海道陸別町との児童交流○群馬県長野原町との児童交流 ○地域学校協働本部の設置○青少年育成講座の開催
5 歴史・文化	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	○文化財の保護と活用 ○郷土芸能の保存、伝承の支援	○郷土研究会への助成○ボランティアガイドの育成、活用 ○本佐倉城跡の保存整備 ○文化財管理及び歴史的文書の保存活用 ○墨古沢遺跡の保存整備○町内埋蔵文化財調査事業
	(2) 文化芸術活動の振興	○文化団体への支援 ○情報提供の充実 ○参加者の拡大	○文化協会への助成○町民文化祭の開催及び実行委員会への支援
6 国際交流・国際理解	(1) 国際人の育成推進	○英語力の向上とグローバル人材の育成	○中学生国際交流（派遣・受入れ）事業
	(2) 平和意識の高揚	○命を大切に教育 ○人権教育	○人権教育セミナーの開催
7 教育行政の推進	(1) よりよい地域・学校づくり	○学校地域における要望等の把握 ○公会計制度による学校給食費の管理○学校給食費の負担軽減	○各学校の評議委員会の活性化推進と意見聴取 ○学校給食費収納事務○第3子以降学校給食費免除制度○地元産食材購入費用の町負担（物価高騰対策含む）
	(2) 教育事業の説明の推進	○積極的な教育委員会活動 ○教育委員会の活性化	○積極的な学校訪問及び意見交換会の開催○教育委員会会議の開催及び会議結果等の広報活動 ○教育委員会の点検・評価○教育委員会表彰の実施
	(3) SDGsに沿った行政運営		

教育委員会の点検・評価

令和4年度 教育施策評価表

酒々井町教育委員会

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	酒々井小学校用地公有地化	
事業の概要	将来にわたる酒々井小学校の安定経営を図るため、また、公費負担を抑制するため、用地の借地部分を購入し、公有地化に取り組む。 町保有面積 35,246.31㎡ 借地面積 4,923㎡ (7筆・6名) 借地12.26%	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	学校用地公有地化の促進に向けて、機会を捉え、地権者の方々に、町の用地購入意思を示しつつ、今後も継続して話し合いの場を広げていけるように努めた。 (※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	酒々井小学校用地公有地化	
事業の概要	将来にわたる酒々井小学校の安定経営を図るため、また、公費負担を抑制するため、用地の借地部分を購入し、公有地化に取り組む。 町保有面積 35,246.31㎡ 借地面積 4,923㎡ (7筆・6名) 借地12.26%	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	酒々井中学校グラウンド拡張	
事業の概要	酒々井中学校のグラウンドは、部活動等で複数の競技が交錯しているため、安全性の確保及び競技力の向上を目的とする拡張整備に取り組む。令和4年度は、必要な用地の購入に向けた交渉を行うとともに、旧テニスコート付近の整備について検討する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 樹木の伐採等含め事業費の確保と事業全体の費用対効果などが不透明である。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	こども課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	酒々井中学校グラウンド整備	
事業の概要	酒々井中学校のグラウンドは、部活動等で複数の競技が交錯しているため、安全性の確保及び競技力の向上を目的とする整備に取り組む。令和5年度は、旧テニスコート付近の整備（ユリノギの伐採）を行う。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	スクールバス運行	
事業の概要	小学校への通学が不便な子ども達を援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを、伊篠・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。 なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が全額補助負担する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		14,384	13,927
課題・問題点	シルバー人材センターの運転手の人員が少ないことから、学校教育課が分担している墨方面のバス運行に影響がないか不安である。 今後、新入生及び転入生の増加によっては、乗車定員を超えることも考えられる。スクールバスとタクシーの併用運行を研究していきたい。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
-----------------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	スクールバス運行	
事業の概要	小学校への通学が不便な子ども達を援助するため、墨地区には町所有のスクールバスを、伊篠・馬橋地区には町社会福祉協議会に委託したバスを運行する。いずれの利用料金も町が負担する。 なお、京成電鉄を利用する下岩橋地区の児童の利用料金も町が全額補助負担する。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	通学路安全点検の実施	
事業の概要	児童生徒の安全を確保するため、夏季休業中に、国土交通省や印旛土木事務所、佐倉警察署等の協力を得て通学路安全点検を実施する（平成24年度より継続実施）。今年度も、各学校より指摘のあった危険箇所について、現地での確認の後、町役場にて協議を行い、学校での指導事項及び早期の改善の方策等について検討する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	通学路について危険・要注意箇所と思われる13箇所を選定し点検した。看板設置、道路ペイントなど、物理的な対策の他、見守り、交通安全指導も含めると、13箇所の安全対策が完了した。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	13箇所の通学路安全点検がすみやかに終わっており、ありがたい。一般的に道路として危ない所は確認していると思うが、時間帯によって危なくなる所もあると思うので、道路の確認をする時に子どもたちからの意見も聞いてみると、さらに良くなると思う。
----------------	---

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	通学路安全点検の実施	
事業の概要	児童生徒の安全を確保するため、夏季休業中に、国土交通省や印旛土木事務所、佐倉警察署等の協力を得て通学路安全点検を実施する（平成24年度より継続実施）。令和5年度も、各学校より指摘のあった危険箇所について、現地での確認の後、町役場にて協議を行い、学校での指導事項及び早期の改善の方策等について検討する。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上	
主な事業	学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員、学校運営支援教員等の配置	
事業の概要	学習指導等専門支援員7名、学習活動支援員3名、特別支援学級介助員5名、学校保健支援教員1名を各小中学校に配置し、各校の教育活動を支援する。令和3年度よりICT授業支援教員を1名雇用し、各校に週に1度のペースで派遣し、各学校の教職員はもとより、ICT技術支援員との連携を密にし、各学校のICTを活用した授業の充実を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		20,265	22,168
	特別支援学級の学習活動を個別に支援したり、通常学級で、学習につまずきのある児童生徒に個別の支援を行ったりする等、きめ細かな学習支援を行うことができた。 ICT授業支援教員の配置により、情報セキュリティーポリシーの周知や情報活用能力育成の指導体系を定めたり、1人1台端末利用の授業実践のサポートに力を発揮した。各学校のICT活用授業の目標を設定することができた。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	タブレット端末が学習に活用され、町の授業のサポートもできていて、成果が上がっていると思う。ただし、検索すれば何でも調べられる中で、書く力が落ちないか心配している。
----------------	---

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(2) 確かな学力の向上	
主な事業	学習指導等専門支援員、学習活動支援員、介助員の配置	
事業の概要	学習指導等専門支援員7名、学習活動支援員3名、特別支援学級介助員5名、学校保健支援教員1名を各小中学校に配置し、各校の教育活動を支援する。ICT授業支援教員を1名雇用し、各校に週に1度のペースで派遣し、各学校の教職員はもとより、ICT技術支援員との連携を密にし、各学校のICTを活用した授業のさらなる充実を図る。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	いじめに関する実態調査及びネットパトロールの実施	
事業の概要	いじめ問題を早期に発見し、児童生徒にとって安全安心の学校生活を確保すべく、児童生徒に対し、いじめに関する実態調査を年間5回実施する。また、スマートフォンの普及に伴うSNS等でのトラブルに対応すべく専門業者にネットパトロールを依頼し、児童生徒の健全育成を推進する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		146	146
	各学校に「いじめの基本方針」を周知し、いじめアンケートを年5回実施するなかで、いじめ防止を進めた。また、ネットパトロールも計画どおりに実施することができた。大きないじめ問題は発生していない。 1人1台端末を活用した指導の過程で、情報モラル教育について各学校で指導を行った。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	スマートフォンの普及に伴い、SNS等の指導の仕方は難しく、苦勞がたくさんあると思う。トラブルがないよう、力を入れて地道に取り組んでいくしかない分野なので、よろしくお願ひしたい。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	いじめに関する実態調査及びネットパトロールの実施	
事業の概要	いじめ問題を早期に発見し、児童生徒にとって安全安心の学校生活を確保すべく、児童生徒に対し、いじめに関する実態調査を年間5回実施する。また、スマートフォンの普及に伴うSNS等でのトラブルに対応すべく専門業者にネットパトロールを依頼し、児童生徒の健全育成を推進する。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	図書館アシスタントの配置と読書活動の推進	
事業の概要	児童生徒の豊かな心の育成に、様々な人々の思いや考えを学び取る「読書」は欠かせない。学校において、図書館アシスタントを配置し、学校図書館の充実を図ると同時に、読書活動を推進することを通して、生涯、自ら学び続ける児童生徒の育成を進める。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		4,486	4,528
	図書の購入を含め、各学校図書館の運営については、担当教員が学校図書館アシスタントと連携して計画を立てるとともに、授業での図書の必要性及び児童生徒の実態（興味・関心を含む）に即した図書館整備を進めることができた。 また、プリミエール酒々井の司書も出席し、図書館アシスタント会議を定期的に開催した。図書館教育について協議することができた。		
課題・問題点	コロナ禍の影響で、図書室を読書の場として利用することが制限されてしまった。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	図書館に行きたいと思える環境が整って、指導が行き届くと、子どもたちもどんどん本に親しんで行くと思う。図書の購入費も充実しているという話もあったが、今後も更にそういう機会を作ってもらえるように進めてもらいたい。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	図書館アシスタントの配置と読書活動の実施	
事業の概要	児童生徒の豊かな心の育成に、様々な人々の思いや考えを学び取る「読書」は欠かせない。学校において、図書館アシスタントを配置し、学校図書館の充実を図ると同時に、読書活動を推進することを通して、生涯、自ら学び続ける児童生徒の育成を進める。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	学校適応専門相談員の配置	
事業の概要	本町でも小・中学生の不登校生徒が見られる。中学校においては「ほほえみ教室」を設置し、クラスに入れない生徒への対応を行っているが、学校敷地内に足を踏み入れることさえできない生徒には活用できない。そこで、町教育委員会で「ふれあいルーム」を設置し、児童生徒の学習活動を保障する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		2,000	2,183
	学校適応専門相談員を2名配置し、小学生（6年生1人）・中学生（3年生1人）の通級を支援した。3年生の進学先も決定した。また、週に1回中学校で行われる生徒指導会議に参加し、学校と情報共有を図ることができた。ふれあいルームと学校の情報共有が進み、多くの手で児童生徒を見守ることができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	あまり表面には出てこないが、保護者から、ありがたかったという意見を聞いている。
----------------	---

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育	
重点的な取組	(3) 豊かな心の育成	
主な事業	学校適応専門相談員の配置	
事業の概要	本町でも小・中学生の不登校生徒が見られる。中学校においては「ほほえみ教室」を設置し、クラスに入れない生徒への対応を行っているが、学校敷地内に足を踏み入れることさえできない生徒には活用できない。そこで、町教育委員会で「ふれあいルーム」を設置し、相談員を配置して、児童生徒の学習活動を保障する。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	ALT及び小学校英語専科教員の配置	
事業の概要	小・中学校における英語教育及び国際理解教育を推進するため、ALTを各小・中学校に一人ずつ配置し、ティームティーチングによる指導により、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には英語専科教員を配置し、英語教育の指導の充実を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		16,875	16,449
	平成29年度よりALTを各小中学校に1名を、さらに平成30年度より各小学校に英語専科教員を配置し、充実した英語学習が実現されている。小学校では、英語専科教員を中心とした研修を計画的に進めるとともに、担任が、授業終了後、直接、英語専科教員から授業に係るアドバイスを受けることも多く、それらの積み重ねによる指導力の向上がうかがえた。		
課題・問題点			

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	ALT及び小学校英語専科教員の配置	
事業の概要	小・中学校における英語教育及び国際理解教育を推進するため、ALTを各小・中学校に一人ずつ配置し、ティームティーチングによる指導により、コミュニケーション能力の向上を図る授業を行う。また、小学校には英語専科教員を配置し、英語教育の指導の充実を図る。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）	
事業の概要	小・中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話す、の5点を重点項目とし、9年間の学校生活において子ども達に意識させて活動させるようにする。また、教科学習において、9年間を見通した学習活動が実施できるよう推進協議会を設置するとともに、「全体会」や「分科会」を新型コロナウイルス感染症対策を十分に行いつつ開催し事業を進める。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		299	296
課題・問題点	新型コロナウイルス感染症の対策をした上で、屋外で実施した小中連携あいさつ運動を実施することができた。また、保小中連携推進協議会及び全体会、3回の分科会は全て開催することができた。 保育園、こども園と小学校の交流は一部中止があったが、その他の交流は概ね順調に実施された。 あいさつ運動の実施により、元気なあいさつが交わされる場面が増えた。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	保小中連携推進事業の実施（あいさつ運動等の推進）	
事業の概要	小・中学校において挨拶、掃除、時間、聞く、話す、の5点を重点項目とし、9年間の学校生活において子ども達に意識させて活動させるようにする。また、教科学習において、9年間を見通した学習活動が実施できるよう推進協議会を設置するとともに、「全体会」や「分科会」を開催し事業を進める。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	人権、同和教育事業の実施	
事業の概要	小・中学校3校では、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し、心豊かな児童生徒の育成を進めている。「人権教育」「同和教育」は、授業に係る研究が必要不可欠な領域である。そこで、3校が輪番で公開研究会を開催し、研究協議をとおして研究を深め、授業力の向上を図る。 （令和4年度は酒々井小学校で実施）	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		623	660
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 児童生徒の実態を分析しながら各学校で人権・同和教育の実践を集積し、12月14日には酒々井小学校で公開授業研究会を実施した。児童の言葉に着目した研究により、国語科との関連を意識することの重要性を再認識できた。また、人権作文集及び人権・同和教育推進資料（第34集）を作成・発行をした。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	人権、同和教育事業の実施	
事業の概要	小・中学校3校では、教育活動の基盤として「人権・同和教育」を推進し、心豊かな児童生徒の育成を進めている。「人権教育」「同和教育」は、授業に係る研究が必要不可欠な領域である。そこで、3校が輪番で公開研究会を開催し、研究協議をとおして研究を深め、授業力の向上を図る。 （令和5年度は酒々井中学校で実施予定）	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	酒々井学（ふるさと学習）の推進	
事業の概要	酒々井町の歴史や文化、自然等について知ることで、郷土に対して愛着と誇りを持ち、自分たちの暮らしをよりよくしようとする意識を育むため、酒々井学を推進する職員1名を学校教育課に配置する。酒々井町を様々な観点から検証し、町内の人材の協力を得つつ、将来も地域で活躍する人材の育成を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		70	2,211
課題・問題点	酒々井学を推進する職員が中心になり、小学校の郷土資料館整備も継続的に実施し、展示資料の解説やイラストパネル等の充実を図りつつ酒々井学の学習拠点として整備を進めた。 また、様々なメディア等を活用し、外部への発信に努めた。 6年生がこども模擬議会で提案した内容が、町役場の協力により、一部実現する方向に動き出し、子どもの育成体勢が進んでいる。 情報セキュリティポリシーの設定により、メディアへの発信には保護者の許可をその都度得ることになった。今までと違う手続きにより、早めに動く必要が出ている。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	---



会議における意見交換等の内容	こども模擬議会において、子どもたちが一生懸命話したことを町が取り上げて、それが実現することが、子どもたちのやりがいにも繋がるので苦労も多いと思うが更にがんばっていただきたい。
----------------	---

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	酒々井学（ふるさと学習）の実施	
事業の概要	酒々井町の歴史や文化、自然等について知ることで、郷土に対して愛着と誇りを持ち、自分たちの暮らしをよりよくしようとする意識を育むため、酒々井学を推進する職員1名を学校教育課に配置する。酒々井町を様々な観点から検証し、町内の人材の協力を得つつ、将来も地域で活躍する人材の育成を図る。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	豊かな心を育むCTSプランへの助成	
事業の概要	町教育委員会では、各学校の特色ある教育活動を推進している。そのため、各学校の校長裁量で活用できる予算を確保し、更なる推進を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額 700	令和4年度決算見込額 700
	それぞれに事業計画書にしたがって、事業展開した。各小中学校に補助金（小学校200千円、中学校300千円）を交付し、各学校の実情に応じた特色ある教育活動を推進することができた。 ホタルの里や米作りなどの地域人材を活用した教育活動、英語検定や漢字検定の受検を推奨する等の取組を推進することができた。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(5) 特色ある教育活動の推進	
主な事業	豊かな心を育むCTSプランへの助成	
事業の概要	特色ある教育活動の展開が学校に求められている。そのため、町教委は校長裁量で活用できる予算を確保し、学校を支援していく。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な事業	部活動指導員の配置	
事業の概要	中学校教職員の働き方改革を進めるには、部活動の指導時間の縮減が必要である。しかしながら、中学校の部活動は、生徒が楽しみにしている活動であり、保護者も、その充実を望んでいる。そこで、部活動指導員を導入し、中学校教職員の負担軽減を図るとともに、専門的な指導の充実を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		119	147
課題・問題点	次年度、酒々井町において休日の部活動の地域移行を試行する予定でありその課題や部活動指導員の配置との関係を整理していきたい。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	吹奏楽の指導員が外部から来ているが、今後の部活動指導員の配置について、見通しはあるのか。 →部活動指導員を増やすかどうかという事については、まず学校の希望を基に考えたい。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分 野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な事業	部活動指導員の配置	
事業の概要	中学校教職員の働き方改革を進めるには、部活動の指導時間の縮減が必要である。しかしながら、中学校の部活動は、生徒が楽しみにしている活動であり、保護者も、その充実を望んでいる。そこで、部活動指導員を導入し、中学校教職員の負担軽減を図るとともに、専門的な指導の充実を図る。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	大会参加経費の助成
事業の概要	中学校の部活動には、地区大会、県大会等があり、生徒はその大会を目標に毎日の活動を精力的に行っている。しかしながら、各大会参加には移動が必要であり、毎回、保護者をお願いすることも困難である。どうしても有料バス等の手段を用いる必要がある。その予算の確保が不可欠であり、助成の充実を図る。

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		922	1,000
課題・問題点	中学校から補助金申請に基づき補助金を支出した。新型コロナウイルス感染症への対策が充実し、競技会が開催されることが増えたことから、支出も増えた。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名 学校教育課
分野	1 学校教育
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進
主な事業	大会参加経費の助成
事業の概要	中学校の部活動には、地区大会、県大会等があり、生徒はその大会を目標に毎日の活動を精力的に行っている。しかしながら、各大会参加には移動が必要であり、毎回、保護者をお願いすることも困難である。どうしても有料バス等の手段を用いる必要がある。その予算の確保が不可欠であり、助成の充実を図る。

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校教育課
分野	6 国際交流・国際理解	
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進	
主な事業	中学生国際交流（派遣・受入れ）事業	
事業の概要	酒々井町の未来を担う子供達に世界を見据えた広い視野を育成すべく、酒々井中学校の生徒をドイツ、オーストラリアへ派遣したり、ドイツ生徒を隔年で受入れたりする中で、子供達の英語力向上や国際理解教育を推進する。ただし、令和4年度は派遣事業・受入れ事業ともに実施しない。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		1	1
課題・問題点	新型コロナウイルス感染症の影響でドイツ生徒受入れ事業を延期とする とともにドイツ及びオーストラリアへの派遣も中止とした。また、令和5年 度の受入れ延期、派遣中止も令和4年11月に決定した。また、オーストラ リア派遣については、今までと同様の教育効果が見込めなくなったことか ら、廃止とした。 ドイツ・ギムナジウムドルフェン校とは、ビデオレターによる交流をする ことができた。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における 意見交換等の内容	
--------------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校教育課
分野	6 国際交流・国際理解	
重点的な取組	(1) 国際人の育成推進	
主な事業	中学生国際交流（派遣・受入れ）事業	
事業の概要	酒々井町の未来を担う子供達に世界を見据えた広い視野を育成すべく、酒々井中学校の生徒をドイツへ派遣したり、ドイツ生徒を隔年で受入れたりする中で、子供達の英語力向上や国際理解教育を推進する。 しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和5年度の派遣事業を中止するとともに受入れ事業を延期とした。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	人権教育セミナーの開催	
事業の概要	町民等を対象にした年間6回のセミナーを実施する。 日常生活の中における様々な人権に関する問題に気づき、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことができるための学習会を開催する。 令和4年度は、インターネット上での人権、障害者やLGBTの方の人権などを主なテーマに取り上げる。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		320	372
	令和4年度は6回のセミナーを開催し、448人の参加がありました。 特に、GIGAスクール構想の推進により、小中学生に1人1台のタブレット端末を配付していること等を考慮し、インターネット上での人権に力を入れて取り組みました。 また、「誰ひとりとのこさない」というSDGsの理念をもとに、障がい者やLGBTの方の人権をテーマに取り組み、少数者の方の人権について考えることができました。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	人権教育セミナーの開催	
事業の概要	町民等を対象に年間6回のセミナーを実施する。 人権問題をテーマとし、日常生活の中における様々な人権に関する問題に気づき、それらを家庭、職場、学校あるいは地域社会で語り合うことができるための学習会を開催する。令和5年度も引き続き少数の方の人権について考えるテーマを設定する。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備	
主な事業	地域未来塾の開催	
事業の概要	中学生を対象に、元教員などの地域住民の協力を得て、生徒の学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に、学習支援を実施する。教科は英語と数学。原則として、日曜日に実施する。ただし1学期と2学期の下校時刻が遅い時期の定期テスト前は、平日に実施する日もある。年間3.2回実施。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額 699	令和4年度決算見込額 705
	新型コロナウイルスの感染拡大に注意しながら、年間3.2回の実施ができた。令和4年度の受講生は2.2名おり、参加率は2.6%だった。		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 実施曜日や実施場所など、受講生のニーズを把握し、改善すべき課題を見つける。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	学習習慣を定着させる事を目的に、より子どもたちが参加しやすくなるような工夫をされているのは、素晴らしい。更に充実するように努めて欲しい。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(2) 生涯学習の推進体制の整備	
主な事業	地域未来塾の開催	
事業の概要	中学生を対象に、元教員などの地域住民の協力を得て、生徒の学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に、学習支援を実施する。教科は英語と数学。主な実施場所を中央公民館に変更して、参加率の改善を図る。実施日は原則として日曜日だが、下校時刻が遅い時期の定期テスト前は平日実施日もある。年間3.2回実施。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	こども青樹堂（3・4年生及び5・6年生）の開催	
事業の概要	元教員などの地域住民の協力を得て、子どもたちの豊かな人間関係を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的に、こども青樹堂を実施する。小学校3・4年生のクラスと5・6年生のクラスをそれぞれ土曜日に年間1.5回ずつ実施する。会場は中央公民館。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		1,348	1,535
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input checked="" type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
---------------	---



会議における意見交換等の内容
-----------------------	-------------------------

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	生涯学習課
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	こども青樹堂（3・4年生及び5・6年生）の開催	
事業の概要	令和4年度同様に事業を継続していきます。参加者が減少傾向にあるので、通年で参加者を受け付ける体制で実施します。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	3 生涯体育・スポーツ	
重点的な取組	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	
主な事業	学校体育施設の活用促進	
事業の概要	①学校開放体育施設を、競技種目・使用団体・利用施設を考慮し、効率的な貸し出しを行う。 ②酒々井中学校テニスコート有料化について検討し、年内に方向性を出す。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	C 達成見込みであるが課題がある		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	①学校、関係部署、関係団体、利用団体等と調整し、できるだけ多く利用できるように、学校開放体育施設の効率的な貸し出しに努めた。 利用団体数：44団体 1,106名 ②酒々井中学校テニスコート有料化について、同じ利用目的の類似施設である総合公園テニスコートと同額で進めていたが、総合公園テニスコート使用料の変更を検討しているため、それをふまえて検討していく。 （※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 酒々井中学校テニスコート有料化について、総合公園テニスコートの使用料の変更の動向をふまえて検討する。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
-----------------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	生涯学習課
分野	3 生涯体育・スポーツ	
重点的な取組	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	
主な事業	学校体育施設の開放	
事業の概要	①学校開放体育施設を、競技種目・使用団体・利用施設を考慮し、効率的な貸し出しを行う。 ②酒々井中学校テニスコート有料化に向けて準備を進める。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	3 生涯体育・スポーツ	
重点的な取組	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	
主な事業	健康体育アドバイザーの配置	
事業の概要	①生涯学習課に経験豊富な人材をアドバイザーとして配置（1名） ②スポーツ団体への支援 ③小中学校部活指導教員への指導 ④各種事業に係る調査研究	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		2,272	2,337
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	生涯学習課
分野	3 生涯体育・スポーツ	
重点的な取組	(1) 生涯体育・スポーツに参加できる環境の整備	
主な事業	健康体育アドバイザーの配置	
事業の概要	スポーツ経験豊富な元教員をアドバイザーとして配置し、酒々井アスリートクラブの運営支援、小学校の陸上練習支援、中学校部活動支援及び各種スポーツ関係事業の相談・支援を行う。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	4 青少年の育成	
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上	
主な事業	地域学校協働本部の設置	
事業の概要	各学校にコーディネーターを置き、地域住民等の参画により、学校を核とした地域づくり、学校支援を実施する。 主な活動は、登下校の見守り、マラソン試走の監視、ミシンがけ指導、環境整備等がある。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		1,440	1,298
課題・問題点	酒々井小学校においては、貸出図書の修復などを行う図書館ボランティア、下校付き添い、ミシンボランティア、総合学習の補助などを実施し、のべ208人のボランティア等の協力があった。 大室代小学校においては、下校付き添い、ビオトープ整備、町探検の付き添い等の活動に231人のボランティアがあった。		
	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	生涯学習課
分野	4 青少年の育成	
重点的な取組	(2) 地域の教育力の向上	
主な事業	地域学校協働本部の運営	
事業の概要	学校と地域が連携・協働して地域全体で子どもたちの学びや成長を支える基盤の構築を図る。各学校にコーディネーターを置き、登下校の見守り、マラソン試走の監視、環境整備等を行う。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	生涯学習課
分野	5 歴史・文化	
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	
主な事業	本佐倉城跡の保存整備	
事業の概要	①指定地内樹木伐採・剪定（城山郭等） ②城跡見学会の開催（佐倉市との共催事業） ③本佐倉城跡案内所の運営	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		9,526	11,134
	①城山郭の民家裏の枯木・危険竹木の伐採を1月上旬から中旬に実施し、終了しました。 ②2/25に佐倉市、ボランティアガイドとの共催で城跡の見学会を実施し、66名の参加者がありました。 ③国史跡本佐倉城跡案内所の運営を継続して行い、令和4年度には来場者として11,404名が訪れました。また案内所で配布するパンフレット等の増刷を行いました。		
課題・問題点	城跡の今後の整備事業工程、指定地拡大の詳細については、町実施計画及び予算面と調整しながら、国・県と協議して検討を引き続き行っていく必要があります。またさらなる来場者の増加に向けて、周知・工夫を図っていく必要があります。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	観光の大きな目玉として、いろいろ工夫しながら事業を進められていると思うが、他の課と連携して何か事業を行っているのか。 ➡生涯学習課が担当しており、他の課と連携はしていません。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	生涯学習課
分野	5 歴史・文化	
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承	
主な事業	本佐倉城跡の保存整備	
事業の概要	①指定地内樹木伐採・剪定（城山郭等） ②城跡見学会の開催（佐倉市との共催事業） ③本佐倉城跡案内所の運営	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

		担当課	生涯学習課
分野	5 歴史・文化		
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承		
主な事業	墨古沢遺跡の保存整備		
事業の概要	①『整備基本設計』作成 ②整備活用委員会の継続開催 ③整備活用に向けた史跡隣接地の用地公有地化 ④ミニ講演会の開催（2回）		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		23,925	24,190
課題・問題点	①史跡墨古沢遺跡整備活用委員会での内容検討を行いながら、道路・駐車場等の外構施設に係る基本設計作成を委託業務として進め、3月末に「整備基本設計書」としてまとめることができました。 ②有識者・史跡関係者で組織する史跡墨古沢遺跡整備活用委員会を継続して開催を行い、R4年度は2回（6/28、3/10）の会議を実施しました。 ③史跡の整備活用に向け、史跡隣接地（民有地）分、2038.28㎡について公有地化することができました。 ④史跡の保存・整備・活用をテーマとした2回のミニ講演会を10/22及び12/17に実施し、墨古沢遺跡の周知・普及を図ることができました。		
	整備・活用について、今後もより具体的な整備及び活用の方法を資金面なども考慮し、国・県・関連諸団体と協議を行いながら進めていかなければなりません。また周知・普及事業など、より多くの人に知ってもらう具体的な取り組みを継続して進める必要があります。		

今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにはほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	観光の大きな目玉として、いろいろ工夫しながら事業を進められているとは思いますが、他の課と連携して何か事業を行っているのか。 ➡生涯学習課が担当しており、他の課と連携はしていません。
----------------	---

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

		所属名	生涯学習課
分野	5 歴史・文化		
重点的な取組	(1) 伝統文化の継承と文化財の保存・継承		
主な事業	墨古沢遺跡の保存整備		
事業の概要	①『整備基本設計』作成（遺構整備・ガイダンス整備） ②整備活用委員会の継続開催 ③付替え町道の実施設計 ④整備活用に向けた史跡隣接地の用地公有地化 ⑤ミニ講演会・ワークショップの開催（各1回）		

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	中央公民館
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	しすい青樹堂の開催	
事業の概要	生きがいを持ちながら郷土愛を育み、仲間作りと教養を高める講話や体験、視察などの講座を開催する。 ①しすい青樹堂（2年制） 2クラス 年間43回講座開催 ②しすい青樹堂公開講座 ③一般講座の開催	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		6,007	5,612
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 公開講座を増やし、町民大学青樹堂の参加者増加を目指す。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input checked="" type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	---



会議における意見交換等の内容	青樹堂を卒業した人はいきいきとしている。ボランティア精神が高まって、地域の中で活きていると思う。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	中央公民館
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	町民大学青樹堂及び町民大学院青樹堂の開催	
事業の概要	「町を深く知り、新しい仲間をつくり、社会参画を目指す」ことを共通目標とし、町民大学青樹堂2年目後期では、専門コースを選択し、個々のレベルアップを図ります。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	担当課	中央公民館
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(4) 学習関連施設の整備	
主な事業	中央公民館の管理運営	
事業の概要	利用者が安心して利用できるよう、施設の維持管理をする。 新型コロナウイルス感染防止対策について引き続き継続し、貸館業務を行う。 災害時の避難所として対応すると共に、安心安全に使用できる施設として、避難訓練等を実施する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		15,395	23,921
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。) 引き続き、感染防止対策を継続し貸館業務をおこなう。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	---



会議における意見交換等の内容	災害時の対応は、訓練できていないと、その場ではなかなか難しいと思う。やってみると見えないものも見えてくると思うので、地味であってもトレーニングを続けてください。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	中央公民館
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(4) 学習関連施設の整備	
主な事業	中央公民館の管理運営	
事業の概要	災害時に対応できる施設として、施設の維持管理を継続する。 新型コロナウイルス感染症防止対策を継続し、安心して利用できるよう対応を継続する。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	①トイレ手洗い温水化工事②調理備品の更新	
事業の概要	①学校給食衛生管理基準により、手洗い設備は温水に対応したものである旨規定されていることから、温水化工事を実施する。 ②老朽化により破損している作業台を購入する。また、移動用のシンクを新規購入する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		17,433	1,555
課題・問題点	①予定どおり、夏休み期間を利用して工事を実施した。（892千円） ②予定どおり、作業台及び移動用シンクを購入した。（436千円） トイレ手洗いの温水化工事実施により、衛生管理基準に基づく手洗いとなった。今後も、衛生管理基準に基づく施設管理に努めたい。 また、施設備品の新規購入に当たっては、優先順位を考慮して計画的に進めることができた。 （※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

	所属名	
分野		
重点的な取組		
主な事業		
事業の概要		

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進	
主な事業	食育指導	
事業の概要	食生活に対する正しい知識の普及を図るため「給食だより」を各学校に配付する。就学期から生活習慣病予防などの健康づくりの理解を定着させるため「センターからこんにちは」を保護者に配付し、町広報にも掲載する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、栄養教諭による給食時間の食育指導に制限があるが、実施方法の工夫等により食育を推進する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		0	0
課題・問題点	新型コロナウイルス感染症の影響により、栄養教諭による給食時間の食育指導の制限がある中、限られた授業の中で学年ごとに授業内容を工夫し、食生活に対する正しい知識の普及を図ったほか、保護者に対しては「センターからこんにちは」を充実させることにより健康づくりへの理解の定着を図った。 （※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 事業を拡大充実する <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 現状を維持継続していく <input type="checkbox"/> 改善 対応すべき改善策を付して事業を継続する <input type="checkbox"/> 統合 独立した事業とせずにほかの事業へ含める <input type="checkbox"/> 期限付 終期を設定して、事業を継続する <input type="checkbox"/> 休止 事業を休止する（復活の可能性あり） <input type="checkbox"/> 廃止 事業をやめる
--------	--



会議における意見交換等の内容	保護者あてに、「センターからこんにちは」というお便りを出していますが、どんな内容で出しているのか。 ➡小学生や中学生に必要な栄養等の内容で、年に数回出している。
----------------	---

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(7) 健康体力づくりと食育の推進	
主な事業	食育指導	
事業の概要	児童生徒に向けた「給食だより」の作成・配付、保護者に向けた「センターからこんにちは」を引き続き作成し、食生活に対する正しい知識の普及等に務める。また、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、給食時間における食育指導の再開に向けて学校と調整を行う。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	地元産食材の利用		
事業の概要	町で生産される米や野菜、加工品の購入に係る経費を全額町が負担し、地産地消の推進を図る。 また、物価高騰に伴う賄材料費の値上げ幅が大きいことに鑑み、保護者の負担増につながらないための支援策を検討する。		

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		7,963	14,995
	給食に使用する米は100%地元産米を使用した。また、契約農家の協力により、さつま芋・大根・長葱・人参などの野菜を購入し、将来を担う児童生徒が口にする給食に安全・安心な食材を使用することができた。また、このことを食育指導の際などに指導・伝達することにより、地産地消の意義や生産者とのつながりについての認識を深めるとともに、食物を大切にする意識の醸成を図った。また、物価高騰に伴う賄材料費の上昇に対応して、町予算の増額補正を行い、給食費の値上げを行わず、子育て世帯の負担を抑制した。		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	100%地元産米を使用したということで、メリットがたくさんあったと思う。食は、子どもたちの体を作る源。物価高騰にもかかわらず、給食費の値上げを行わず、おいしい給食を提供していただき、ありがたい。
----------------	---

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

		所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育		
重点的な取組	(7) 健康・体力づくりと食育の推進		
主な事業	地元産食材の使用		
事業の概要	町で生産される米や野菜、加工品の購入に係る費用を全額町が負担し、地産地消の推進を図るとともに、その目的や意義を食育を通じて児童生徒に伝えていく。町内の農家・事業者にも教育面での効果を伝えることにより相乗効果が生まれるよう努める。また、物価高騰の影響が子育て世帯への負担増につながらないように、食材費の適正な管理に努めるとともに、必要に応じて迅速な財政措置を行うことができるように庁内調整を行う。		

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野	7 教育行政の推進	
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり	
主な事業	学校給食費収納事務	
事業の概要	学校給食費の収納事務を適切に行う。また、現年度分・過年度分未納給食費については、規則等に基づき、計画的なスケジュールのもと厳正に収納事務を行う。なお、督促に応じない悪質な滞納者に対しては、繰り返し督促を行い、必要に応じて裁判所の支払督促を活用する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	B おおむね順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		678	257
課題・問題点	学校給食費の公費化により、教職員の事務の負担軽減、保護者の利便性向上及び振込手数料の無料化による負担軽減が図られた。 給食費徴収の公平性の確保の観点から、給食費を長期滞納している世帯への訪問を実施し収納を促すとともに、児童手当を給食費に充てられる制度の説明をするなど、収納未済の解消に努めた。また、督促に反応のない保護者に対しては、簡易裁判所による支払督促制度の使用も検討した。		
	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/>	拡大	事業を拡大充実する
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持	現状を維持継続していく
	<input type="checkbox"/>	改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	統合	独立した事業とせずほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/>	期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/>	休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/>	廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別

継 続

	所属名	学校給食センター
分野	7 教育行政の推進	
重点的な取組	(1) よりよい地域・学校づくり	
主な事業	学校給食費収納事務	
事業の概要	学校給食費の収納事務を適切に行う。また、現年度分・過年度分未納給食費については、規則等に基づき、計画的なスケジュールのもと厳正に収納事務を行う。なお、督促に応じない悪質な滞納者に対しては、繰り返し督促を行い、必要に応じて裁判所の支払督促を活用する。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	学校給食センター
分野		
重点的な取組		
主な事業		
事業の概要	

3月末の状況

取組状況（達成度）			
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	--	--



会議における意見交換等の内容
----------------	-------------------------

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
新規

	所属名	学校給食センター
分野	1 学校教育	
重点的な取組	(1) 教育環境の整備	
主な事業	学校給食センターの今後のあり方に関する検討	
事業の概要	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催	
事業の概要	子ども読書活動の推進を図るため、各種事業を開催する。 図書館講演会・読書通帳サービス・おはなし会・多読表彰式・子ども映画会 なお、わらべうたの会は赤ちゃん向けおはなし会と名称を変更して実施	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		77	86
課題・問題点	(※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。)		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 期限付 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	事業を拡大充実する 現状を維持継続していく 対応すべき改善策を付して事業を継続する 独立した事業とせずにほかの事業へ含める 終期を設定して、事業を継続する 事業を休止する（復活の可能性あり） 事業をやめる
--------	---	--



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(1) 学習機会の充実と学習活動の支援	
主な事業	図書館講演会やおはなし会等の開催	
事業の概要	・子ども読書活動の推進を図るため、各種事業を開催する。 (図書館講演会・読書通帳サービス・おはなし会・多読表彰式 子ども映画会)	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(4) 学習関連施設の整備	
主な事業	プリミエール酒々井の管理運営	
事業の概要	・経年による修繕やメンテナンス、機器の更新等が多く生じているため、利用者に支障がでないよう施設の適正な管理運営に努める。また、新たな増築スペースについては、イベント等の開催や子どもの居場所づくり（学習室）としての利活用を図る。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		23,200	26,561
	工事費・空調配管周り計器交換（1,518千円） ・舞台機構設備緞帳落下防止金具取付工事（770千円）		
	修繕費・エントランスホール椅子張り替え（798千円） ・避難口誘導灯器具及びバッテリー交換（425千円）		
	備品費・エントランスホール椅子購入（672千円） ・舞台照明設備（照明操作卓）購入（1,705千円） 増築スペース（ふれあい広場）については、イベント開催、学習室として利活用を図った。 令和4年7月からの利用者数は、499名		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。）		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(4) 学習関連施設の整備	
主な事業	プリミエール酒々井の管理運営	
事業の概要	・経年による修繕やメンテナンス、機器の更新等が多く生じているため、利用者が安全に安心して利用できるよう施設の適正な管理運営に努める。ふれあい広場については、イベント等の開催や子どもの居場所づくり（学習室）としての利活用を図る。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(3) 多様な図書館サービスの利用促進	
主な事業	図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実	
事業の概要	・多様化する利用者ニーズに対応するため、幅広い分野の資料収集を行うとともに、レファレンスサービス、障害者・高齢者サービス（大活字本・朗読CDの充実）、電子書籍サービス等、図書館サービスの充実に努める。 また、図書館報の発行やホームページを活用した情報発信を積極的に行う。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		6,535	1,122
課題・問題点	・電子書籍コンテンツの購入（130点） ・図書館報の発行や図書館ホームページを活用し情報発信に努めた。		
	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） 電子書籍サービスの周知や利用者ニーズに対応した提供資料の充実を図るための資料の選定など		

今後の方向性

今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
		<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
		<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
		<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにはほかの事業へ含める
		<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
		<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
		<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	昨年度、電子書籍サービスについて、利用者はかなり特定された人になっており、なかなか伸びなかったという話だったが、4年度はどうだったか。 ➡4年度は、309名の方が利用され、966冊の貸し出しを行いました。 最初の勢いがちょっと止まっている気がする。
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別	継 続
------	-----

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(3) 多様な図書館サービスの利用促進	
主な事業	図書館資料の拡充及び図書館サービスの充実	
事業の概要	・多様化する利用者のニーズに対応するため、幅広い分野の資料収集を行うとともに、レファレンスサービス、障害者・高齢者サービス（大活字本・朗読CDの充実）、電子書籍サービス等、図書館サービスの充実に努める。また、図書館報の発行やホームページを活用した情報発信を積極的に行う。	

教育施策評価表（令和5年8月実施）

令和4年度 教育施策評価表

	所属名	プリミエール酒々井
分野	2 社会教育	
重点的な取組	(4) 学習関連施設の整備	
主な事業	音楽会の開催	
事業の概要	・第22回オータムコンサート 音楽を通じて小中学生や一般視聴者との交流を図り、親交を深めるとともに、演奏技術の向上を目指す。 ・第2回、第3回しすいリッチハートコンサート 音楽文化を広め、豊かな心を育み、生きがいを感じられる町作りを目指し、音楽会を開催する。	

3月末の状況

取組状況（達成度）	A 予定どおり順調に達成している		
実績・成果	事業費（千円）	令和3年度決算額	令和4年度決算見込額
		94	264
	・リッチハートコンサート：8月27日、12月18日開催 参加者196名、329名 ・オータムコンサート：10月21日開催、参加者365名		
課題・問題点	（※取組状況がC・D・Eの場合は必ず記入してください。） コンサート開場時に、入場をスムーズに行うため座席指定方式を検討する必要がある。		

今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大	事業を拡大充実する
	<input type="checkbox"/> 現状維持	現状を維持継続していく
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善	対応すべき改善策を付して事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 統合	独立した事業とせずにほかの事業へ含める
	<input type="checkbox"/> 期限付	終期を設定して、事業を継続する
	<input type="checkbox"/> 休止	事業を休止する（復活の可能性あり）
	<input type="checkbox"/> 廃止	事業をやめる



会議における意見交換等の内容	
----------------	--

令和5年度 教育施策の概要

事業種別
継 続

	所属名	プリミエール酒々井
分野	5 歴史・文化	
重点的な取組	(2) 文化芸術活動の振興	
主な事業	音楽会の開催	
事業の概要	1. 第23回オータムコンサート 音楽を通じて小中高校生や一般視聴者との交流を図り、親交を深めるとともに、演奏技術の向上を目指す。 2. 第4回・第5回・第6回しすいリッチハートコンサート 音楽文化を広め、豊かな心を育み、生き甲斐を感じられる町づくりを目指し、音楽会を開催する。	